

少雨に対する農作物管理対策

徳島県立農林水産総合技術支援センター 経営推進課

徳島県内では、全体的に少雨の状況となっています。

そこで、少雨に対応するための農作物管理対策を作成しましたので、参考にしてください。

野菜・花き

- ・ほ場が乾燥している場合は、うね間かん水を行い、効率的な水利用に努める。
(気温が低い時期は、気温の高い日中に行う。)
- ・うね間かん水は、長時間うね間に水がたまると、根が傷む場合があるので注意する。
- ・播種または定植作業は、土壤水分が適正な状態でうね立てし、発芽または初期生育に必要な水量の確保に努める。
- ・乾燥を防ぐ対策として、うねの上にマルチや敷きわらをする。
- ・施設等では、乾燥するとハダニ、アブラムシ等が発生しやすいため早期防除に努める。

果樹

- ・水が確保される地域では、定期的にかん水する。
- ・十分な水が確保できない場合は、樹幹下にスポット（部分）かん水する。
(スポットかん水の目安：1樹当たり10リットル以上×2～4カ所程度)